



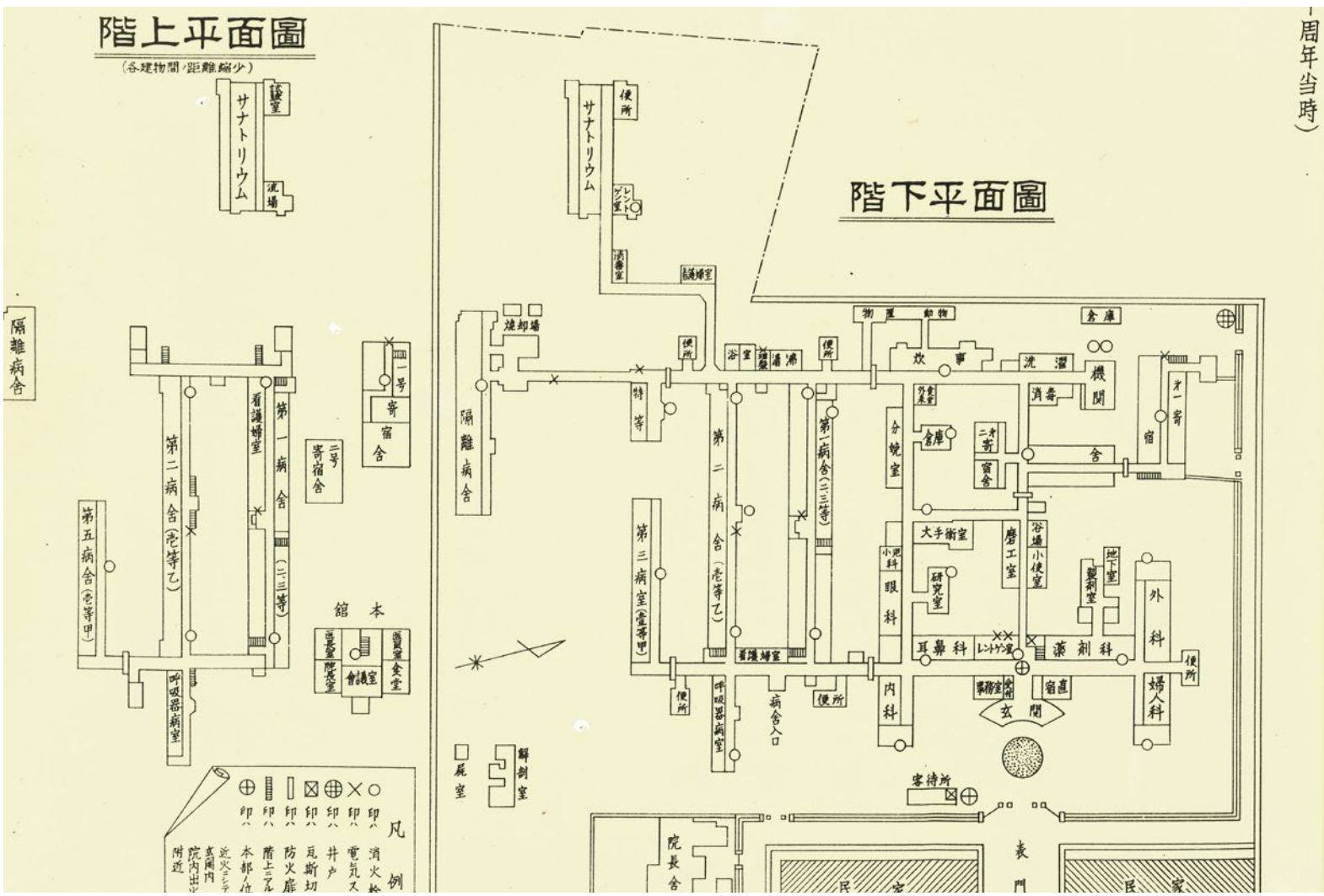
昭和10年(1935年)～

創立10周年記念式典を開催

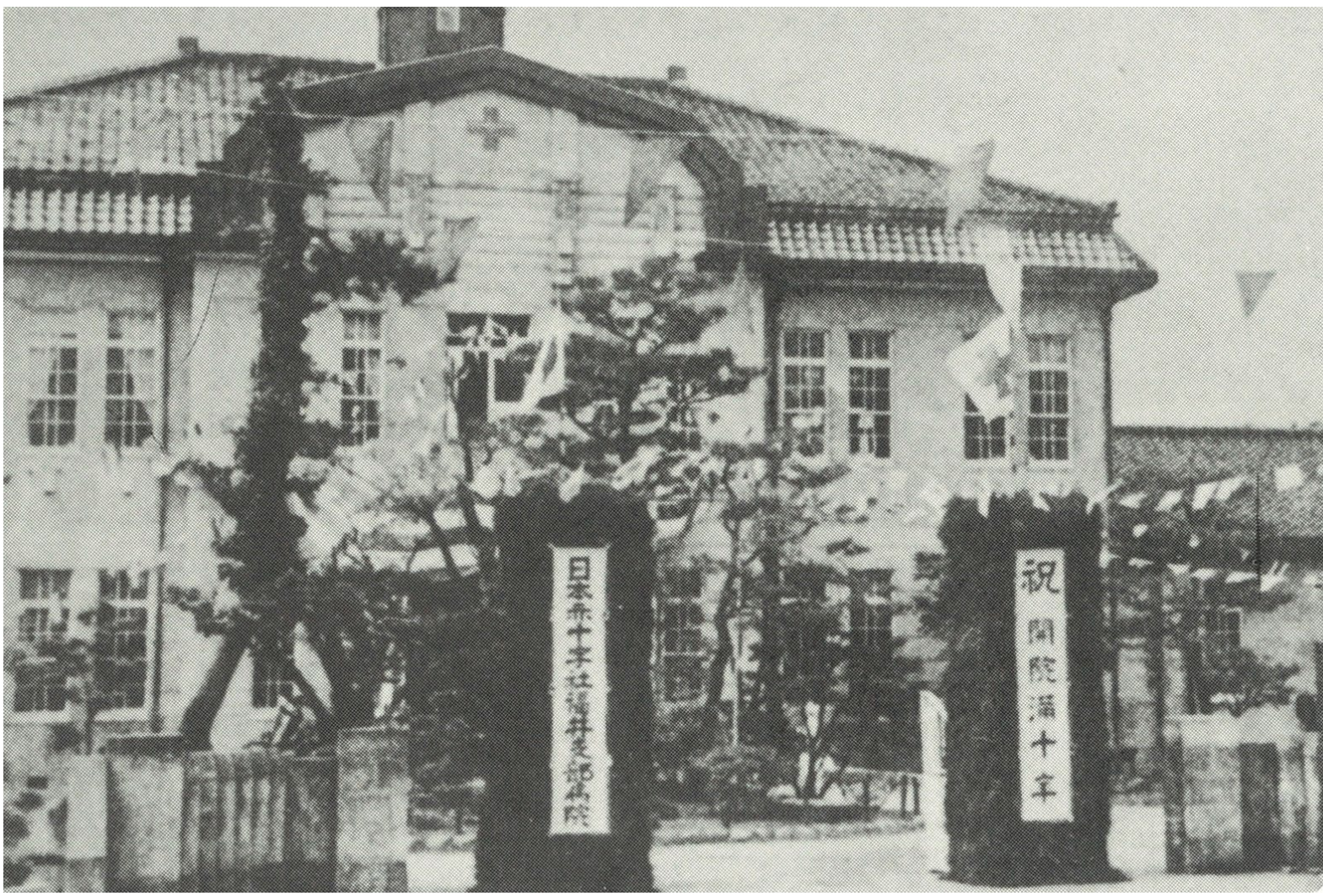
～診療機能を充実させて～



「開院十周年 赤十字病院記念式 官民名士を招きて」の見出しで、当日の様子が紹介された



▲10周年当時の病院配置図



▲福井赤十字病院創立10周年の記念式典の様子

開院から10年を迎えた昭和10年(1935)、多くの来賓を招いて福井赤十字病院創立10周年の記念式典が開催されました。開院から10年間のなかで、大正15年(1926年)8月に小児科を開設、昭和6年(1931)4月に伝染病棟を増設、昭和9年(1934)6月には、北陸初の鉄筋コンクリート造りとなるサナトリウム棟が竣工しました。病床数は大正14年(1925)4月の創立時の138床から192床にまで増加するなど、10年の間で着実に診療機能を充実させてきた歩みでした。

昭和10年の出来事

- ・鉄道省が女子車掌を初採用
- ・築地市場開場
- ・NHKが国際放送を開始
- ・モノポリー発売

